

削減効果(削減率)

■照明器具 5%

▽日中は不要な照明を消す。

■エアコン

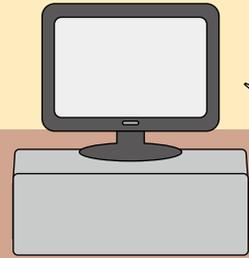
▽室温28度設定(設定温度を2度引き上げた場合) **10%**
 ▽すだれの使用 **10%**
 ▽扇風機に切り替え **50%**

■テレビ 2%

▽省エネモードに設定。画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消す。

■待機電力 2%

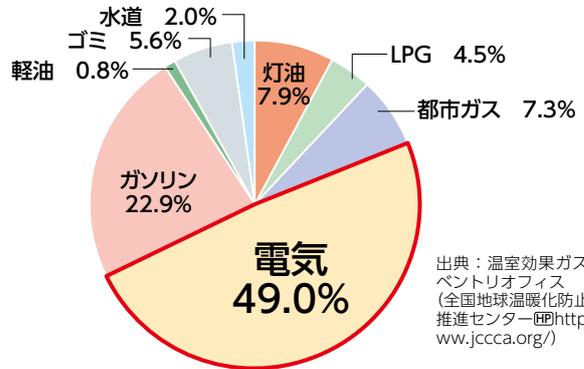
▽本体の主電源を切る。コンセントからプラグを抜いておく。



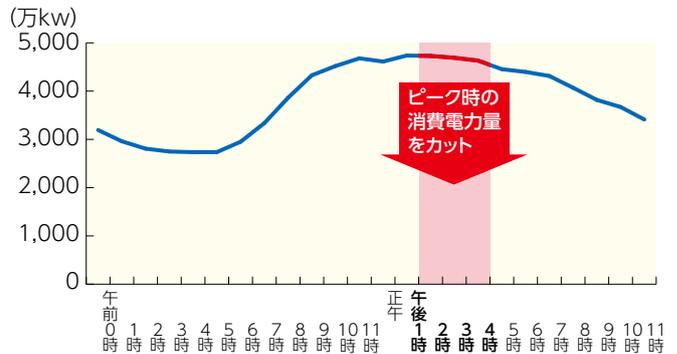
身近にできる賢い節電
できることから
楽しく始めよう

皆さんの節電が、二酸化炭素削減による地球温暖化防止や電力の安定供給につながります。美しい地球を未来へつなぐためにも、日常生活に節電をうまく取り入れ、無理のない範囲で楽しく節電を始めませんか。

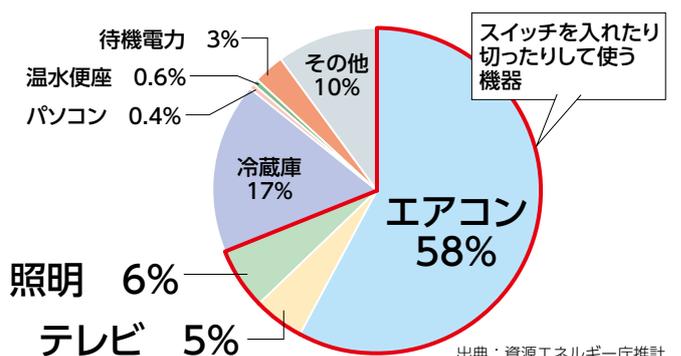
■グラフ1 家庭からの二酸化炭素排出量 (世帯当たり燃料種別・2013年度)



■グラフ2 夏の昼間の電力使用の特徴



■グラフ3 夏の昼間(午後2時頃)の電気機器利用率(全世界平均)



地球温暖化防止のためにも節電を

本格的な夏に向け、「冷房の設定温度は28度」や「クールビズ」など、たくさんさんの節電に関する言葉を耳にするようになってきました。しかし、なぜ節電しなくてはいけないのでしょうか。

今、世界では、大気中の二酸化炭素量が増えたために、気温が上昇する地球温暖化が大きな問題となっています。地球温暖化をこれ

以上進行させないためには、私たちみんなが二酸化炭素の排出を減らしていかなければなりません。

では、私たちの生活の中で二酸化炭素を排出しているのはどこでしょう。その多くは、電気の使用によるものです(右のグラフ1)。

身近な生活の中の電気の使用を抑えるだけで二酸化炭素の削減につながります。

消費電力が高まるのは午後1時～4時の間

夏(7～9月)の間、電

力消費が多くなる時間帯は、午後1時～4時の間です(右のグラフ2)。その時間帯は、エアコン・テレビ・照明で約70パーセントの電気を使用しています(右のグラフ3)。

消費電力の大きい電化製品を同時に使用しない

夏の節電は、電気の使用を抑えることや電力不足が起きないように、一斉に電気を使わないことが大切です。無理のない範囲で、消費電

本文中に記載がないものは、原則として、対象どなたでも、費用無料、申込不要。
 地区市民センター、出張所、生涯学習センター、HPホームページ、地域コミュニケーションセンター、地域自治センター、市民活動センター



「涼」をシェアして 人と人との「輪」をつなぐ

宇都宮共和大学
シティライフ学部3年

田代 桃子さん(左)
加藤 優美さん(中央)
網代 美佳さん(右)

一般家庭の消費電力がピークを迎える時間帯に、家庭のエアコンを止め、大学のキャンパスのエントランスホールに集まって、涼しげな音楽や飲食物で「涼」を感じてもらおうと、去年初めて「クールシェア・コンサート」を開催しました。

コンサートは学生による演奏だけでなく、地域のフラダンスサークルの発表やラジオのパーソナリティによるエコ絵本の読み聞かせなどもあり、また、活動に賛同してくれた市内企業が来場者向けにアイスを提供してくれるなど、さまざまな人と交流することができました。

何よりうれしかったのが、地域の高齢者を中心とした多くの来場者に「楽しかった」「次も楽しみにしているよ」と喜んでくれたことです。

今年は、親子も楽しめるような企画をさらに検討しています。幅広い世代の皆さんと「涼」をシェアしながら、節電だけでなく、人と人との輪をつなげる「クールシェア」を楽しみたいと思います。

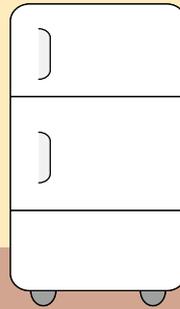
※今年のクールシェア・コンサートについては、欄外をご覧ください。



家庭の節電対策と

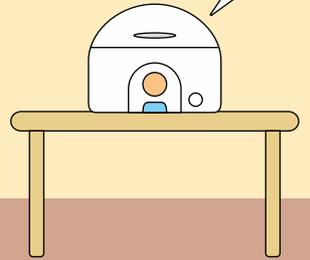
■冷蔵庫 2%

▽設定温度を「強」から「中」へ。
▽扉を開ける時間をできるだけ減らす。
▽食品を詰め込み過ぎない。



■炊飯器 2%

▽早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫の冷凍室で保存する。



■温水洗浄便座 1%未満

▽温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用する。



力が大きい電化製品を複数同時に使わないよう心掛けましょう（上のイラスト）。
クールシェアで暑い夏を楽しく乗り切ろう
■クールシェアとは 夏の暑い時間帯に、飲食店や公共施設など涼しい所で過ごし、家庭の省エネ・節電を進めるプロジェクトです。夏を快適に乗り切るだけでなく、街を元気にしたり、家族や地域の絆を深めたりする効果があります。



みやCO2バイバイプロジェクト

地球温暖化の主な原因であるCO2(二酸化炭素)に「バイバイ」しよう

このプロジェクトは、太陽光発電で削減したCO2排出量を売買可能な価値（クレジット）にして売却し、得られた収益を地球温暖化対策に活用する事業です。

家庭に太陽光発電を設置している人で、取り組みに参加いただける人を募集しています。参加要件や申し込み方法など、詳しくは、市HPをご覧ください。

■ロゴマークが完成 再生可能エネルギーである太陽光発電を生かして、市民や事業者を巻き込んで環境行動がつながっていくことをイメージし、手塚美月さん（宇都宮メディア・アーツ専門学校）が作成しました。



▲ロゴマーク

■ピークカットが重要 電力需要が高まる7～9月の昼間に、クールシェアをすると、約70パーセントの節電になります。
■クールシェアスポットを活用して熱中症対策を エアコンをつけず家の中で我慢するなど、過度な節電は熱中症の恐れがあります。熱中症予防にもクールシェアスポットをご利用ください。

本市では、市内の大学・事業者と連携してクールシェアスポットを登録するなどの、「もったいないクールシェア」を推進しています。クールシェアスポットは右のマークが目印です。クールシェアスポットの情報など、詳しくは、市もったいない運動市民会議 <http://www.u-mottainai.com/> をご覧ください。



▲クールシェアスポット目印

◎まちなかクールシェア・コンサート「その日、再び大工町が楽園になる」▽日時 7月25日（土）、8月22日（土）。午後2時～5時▽会場 宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパス（大通り1丁目）。◎宇都宮共和大学シティライフ学部 ☎(650)6611
◎この特集についての問い合わせは、環境政策課 ☎(632)2409へ。